

---

# 東方墓王伝

墓守ココア

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

東方墓王伝

### 【Nコード】

N5748Z

### 【作者名】

墓守ココア

### 【あらすじ】

王の住む地、ロード・ランにて不死の勇者に打ち倒された墓王ニトは、何者かにより幻想郷へと連れられていつてしまう。

話を聞くと幻想郷に不死が現れ始め、ゆっくりではあるが外の世界にも影響が現れ始めているようだが……

## 東方墓王伝 プロローグ（前書き）

このお話は本編の前の話です。幻想郷の住人はしばらく出てこられませんが、ご了承ください。それとこのようなサイトに小説を投稿するのは初めてのことなので色々とおかしな点が多々あると思いますが、よろしくお願いします。

## 東方墓王伝 プロローグ

暗く 冷たい闇の先で、彼は待っていた 不死の勇者の存在を

尋常の光を喰らう、死の領域、そこで彼はどれくらいの間待ち望んでいたのだろうか。

かつての彼の戦友、大王グウィンが消えかけの火を継ぎに行き王が全てを擲って燃やし続けた火が、もう少しまれようとしている。

”最初の死者”ニト

数千年前最初の火より、太陽の光の王グウィン、イザリスの魔女達、誰も知らぬ小人と共に

王のソウルを見出した者の一人である。

その外見は多くの人骨が集まったような姿で、

黒く、実体のないマントを羽織り、右腕には死者の骨で出来た巨大な剣を持っている

まさに、最初の死者と呼ぶに相応しい姿だろう。

後に、王のソウルを見出した彼らは、当時の世界の支配者である古竜達に、戦いを挑んだ。

グウィンの雷が、岩のウロコを貫き

魔女の炎は嵐となり

死の瘴気が墓王ニトによって解き放たれた

そして、ウロコのない白竜、シースの裏切りにより、遂に古竜は敗れた

こうして火の時代がはじまった

だが、世に永遠というものは無く、やがて火は消え、暗闇だけが残る

今や、火はまさに消えかけ

人の世には届かず、夜ばかりが続き

人の中に、呪われた不死の証が現れはじめていた

今の世界の全ての始まり、”最初の火”が消えれば、人の世界は暗い世界へ変わってしまう。

だが、不死の勇者が現れ、大王グウインの後継として最初の火を継げば

再び世界は火の時代、光の時代へと戻るだろう。

しかし、仮に勇者が現れたとしても 最初の火が熾った地へと赴き大王グウインの後継として火を継ぐのは、簡単な事ではない。

今は捨てられたかつての神々の住む都、”アノール・ロンド”にて、王の器を手にした後

器を強大なソウルで満たし、最初の火の炉への扉を開け

最早燃え殻となったかつての王グウインを打ち倒さなければならぬ。

その全ての試練を乗り越えた、強いソウルを持つ者こそが王グウインの後継として火を継ぐのに相応しいのだ。

そして、器を満たすのに必要な強大なソウルを持つ者の内の一人が、彼、墓王ニトである。

火の時代のはじまりより王のソウルにより得た力全てを

死に捧げてきた彼の力は最早尽きかけているが

それでも王の力は強く、人間一人に対する試練としては十分な力だろう。

地下墓地を抜け、暗い、死の領域巨人墓場を制覇し

遂には彼を打ち倒した者こそが、最初の火の炉へと至るに相応しい者だ。

彼はずっと、待っている、不死の勇者の到着を

## 東方墓王伝 プロローグ（後書き）

ダークソウルに登場するボス 墓王ニト様を幻想入りさせたくてこうなりました。

小説を書くのはこれが初めてですが、下手糞なりに努力し、続けていこうと思うので、生暖かい目で見守ってくださいたら幸いです。皆様からの感想、意見はいつでも募集しております。よろしく願います。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5748z/>

---

東方墓王伝

2011年12月19日16時50分発行